

会議録（要旨）

会議名称	第16回阿南市子ども・子育て会議
開催日時	令和5年7月5日(水) 15時00分～16時28分
開催場所	阿南市役所 2階 202・203・204会議室
出席委員(敬称略)	松原 温美、四宮 綾、石本 美加、落合 みなみ、八木 健造、鎌田 耕一郎 吉本 るり子、明石 あゆみ、横手 桂子、梶本 悦子、木内 啓嗣、上手 永子 渡部 友子、幸田 初美、片山 美幸、小西 嘉代子、黒川 喜美恵、佐々木 晃
会議内容	<p style="text-align: center;">【開 会】</p> <p style="text-align: center;">新任委員自己紹介</p> <p style="text-align: center;">【議 事】</p> <p style="text-align: center;">議題(1)第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">委員の意見等</div> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を聴取するとなっているが、何歳の子どもにどのような意見を聞くようになるのか。対象者やその意見の聞き方等決まっていたら教えて欲しい。 ・子ども計画で、子ども大綱を基に県は県の子ども計画を、市は県の計画を勘案し、市子ども計画を定めるとされているが、県の計画はいつ頃できるのか。また、何もかも県が決めたことに準拠するのでは市子ども計画の意味がなくなるのでは。阿南市で独自に考えてやっていくのも必要では。 ・国は子どもに関する政策をこれまでの縦割りから、誰一人取り残さないような包括的にやっっていこうと謳っているが、阿南市の現状で未就学児は子ども課が、子ども相談室は18歳までの子どもとその保護者の対応を、保健センターでは妊娠・出産・子育てのところのアプローチ、生涯学習課では放課後児童クラブと、それぞれの所管が物理的に離れた窓口となっており、この現状を捉え、今後どう変わっていこうとしているのかを示してほしい。 ・阿南市の中で子どもの括りを0歳から18～20歳のところまで考えるのであれば、どこかの課が司令塔として一本化していくのは非常に重要。 ・学童の運営を子どもを預ける保護者が行っていることに不信感がある。働く者が学童に預けるのに、学童の職員の雇用や運営をするのは非常に労力がかかる。 ・子育て中のお母さんの相談先、支援の一本化が必要と思う。組織の一本化も重要だが、どこかにいったら話を繋げてくれるという仕組みが必要と思う。明石市は図書館が拠点となり、子育て支援や役所の窓口が一緒になっており、羨ましいと感じた。 ・学童保育の運営方法で、阿南市は補助金は出すけれど、運営は丸投げになっているのに運営に口を出されるのはおかしいと感じた。子どもまんなか社会というのなら、親が運営等で大変だから預けないということがない、利用したい全ての子どもが利用できるような状況になってほしい。

- ・学童保育の運営を、学童を利用する保護者でなく、社会福祉法人等でやらせてもらえないか。以前、教育委員会に話を聞きに行ったが、前例がないと断られた。他市町村では保育園が運営しているところもあると聞いている。
- ・一時預かりができる施設が少ないと感じており、枠をもう少し増やしてほしい。
- ・阿南市内に公園を増やしてほしい。(事前質問)
- ・夜間に利用できる学童がほしい。
- ・学童の利用料無償化を行ってほしい。
- ・公園の管理を適切に行ってほしい。また、公園の遊具が使用できるか等の最新情報を阿南市の公式LINE等で公表してほしい。
- ・長生町の学童に保護者会はあるが、運営委員長を保護者でなく地域の方が担っていていて会計管理もシルバーに入ってもらっている。子育てを当事者だけに任すのではなく、地域の方も借りながらやるという長生モデルをぜひ参考にしてほしい。

議題(2)その他

委員の意見等

- ・乳幼児期の愛着形成、アタッチメントの大切さを再認識させられているところ。幼児教育の利用料の引き下げによる保育施設の利用に係る調査から、いろいろなマイナスの影響がエビデンスとして示されており、阿南市における0歳児からの無償化についても経過等を含め全国的にも注視されている。
- ・0歳児の無償化が昨年からはじまり、0歳児の入所に関する問い合わせが非常に多いが、0歳児の待機児童はどれくらいいるのか。また、0歳児の受け入れを増やすという事は施設を増やしていくことにも繋がり、その場合保育士不足が発生すると考えられる。保育士不足による保育の質の低下も懸念されることから、保育の無償化について、デメリットも含め一度考える必要があると感じている。
- ・阿南市は比較的財政が裕福な自治体だが、公園の管理、整備に少し遅れがでている。人口減少の中でこれまで当たり前であった行政サービスが受けられない時代が5年、10年先にやってくると考えられる。阿南市がこどもを産み、育てられる楽しいまちだと思ってもらえるような施策が必要。また、保育士不足の問題も徳島市や明石市ではUターンや新規採用に際し、給料や住宅手当や一時金を出すなど色々な施策を投じて保育士の取り合いが始まっている。
- ・阿南市は文化的に優れており、野球のまちの取り組みや高速道路が延伸されてくると移住者が増えてくると考えられ、乳幼児教育をしっかりとしているというの大きな魅力になると思うので、この会議においても色々な魅力発信が出来ればと思う。

【閉 会】

会議内容